

No.10

日私教研で活躍する研究員を紹介ししますー②(2012年3月)

山崎吉朗専任研究員が『フランス教育功労賞(パルム・アカデミック)』を受勲  
(2月24日)

財団法人日本私学教育研究所では、3名の研究員が私立学校教育に関する研究調査に励んでいます。とくに本年度は、東日本大震災をうけて、文部科学省公募事業で採択された「震災時における学校対応の在り方に関する調査研究」、私立学校のボランティア活動事例等の研究を行う「復興教育支援事業」等に積極的に取り組んでいます。今回は各研究員の最近の活動、教育の功績等を取り上げます。

②山崎吉朗専任研究員

2月24日、フランス共和国政府からの山崎吉朗専任研究員に対する教育功労賞の叙勲式が、東京都南麻布の在日フランス大使館においてとり行われました。叙勲式では、ベルトラン・フォール在日フランス大使館文化参事官によるお祝いの言葉に続いて、同参事官から山崎専任研究員にシュヴァリエ勲章が授与され、山崎専任研究員から謝辞が述べられました。続いて祝賀会が開催され、中川武夫・日私教研所長ら関係者が出席して懇親が繰り広げられました。今回の受賞は、山崎専任研究員がカリタス女子高等学校のフランス語教員として四半世紀を超えて同校のフランス語教育発展に寄与するとともに、日仏高等学校ネットワークコリブリを創設する一方、語学教育でのICT教育活用等をおして、長年にわたり中等教育におけるフランス語教育の振興発展に大きく貢献・寄与されてきたことが評価されたものです。

山崎専任研究員は、日私教研で複言語教育、フランス語教材開発、国際教育交流等の諸研究会を主宰するとともに、私立学校初任者研修会・10年経験者研修会・実務者研修会・教員免許状更新講習の講師を務め、中学高校の教育相談を担当する傍ら、上智大学外国語学部講師、東洋大学文学部講師として活動しています。

《教育功労賞 パルム・アカデミック L'ORDRE DES PALMES ACADEMIQUES》

◇歴史 1808年にナポレオンによって創設され、高等教育を含む教育全般に関わる人に与えられる勲章。特にフランス語教育やフランスの学術研究を積極的に日本へ紹介した人、または日仏文化交流に寄与した人を対象とする。

◇等級 Chevalier シュヴァリエ、Officier オフィシエ、Commandeur コマンドゥールの3段階がある。駐日フランス大使と協議の結果、在京のフランス大使館文化部と科学技術部、西日本では大阪のフランス総領事館の三者のいずれかが、日本で推薦機関となる。審査は本国の国民教育・研究・技術省で行われる。ここ10年間に約110名の日本人が教育功労賞を受勲している。